自動車部品

競争力強化に磨き

度重なる試練、底力で克服

東日本大震災による生産停滞分を挽回する増産期に入った矢先の10月に、タイ洪水被害に見舞われた自動車業界。部品各社は直接・間接的に大きな影響を受けた。ただ代替生産などを急ピッチで進め、着実に本格復旧に向かっている。だが各社を苦しめるのは、これだけではない。6重苦、7重苦とも言われる試練が続く中だからこそ「底力をみせたい」（牛山雄造東海理化社長）と競争力に一層磨きをかける。

代替生産で対応

タイ洪水では愛知県内に本社を置く部品メーカーも現地工場が浸水被害を受けて、操業停止に追い込まれた。アイシン精機グループのアイシン高丘（愛知県豊田市）はアルミニウム鋳造部品工場が浸水した。このほか大豊工業の軸受工場や今仙電機製作所のシートアジャスター工場などが浸水の被害を受けた。今なお復旧の見通しはたっておらず、各社は日本などでの代替生産で対応する。

「浸水した工場から金型を約800個、治具を約1300個を引き上げた」というのは藤掛治今仙電機製作所社長。同社は金型などを日本に送ったり、新規に金型を発注したりして日本での代替生産を始めた。

自社が直接被害を受けていなくても、現地仕入れ先が浸水した企業も多い。各社は被害を受けた仕入れ先に対し、早期生産復旧に向けた支援に乗り出した。デンソーは金型・治具の回収作業を支援しているほか、現地の自社工場の空きスペースを協力会社に提供。アイシン精機は水が引いた後に、生産設備保全関連の人員を仕入れ先の復旧応援に送る考えだ。

震災、洪水と天災被害が相次ぐ中、各社は今後に向けリスク管理の見直しを図る。「材料を統合して部品を標準化したり、生産地や仕入れ先を分散する」（荒島正豊田合成社長）ほか、他地域で代替設計して生産できるように「設計仕様を工夫する」（加藤宣明デンソー社長）など、天災に強い体制を築く考えだ。

円高対策も課題

円高対策も各社共通の課題だ。日本から輸出している素材・部品も多いため「現地で（生産を）完結できるようにする」（高橋徳行中央発條社長）と現地調達を拡大する方針。また円高のメリットを生かし、海外拠点から日本への部材の輸入を増やす動きもある。

ただ一方で、こうした動きは日本のモノづくりを空洞化させる懸念もある。そのため「（円高対策は）国内の仕入れ先への影響を考慮しながら進めなければならない」（豊田周平トヨタ紡織社長）、「短期的な為替対策のために国内のモノづくり基盤を失ってはいけない」（松井拓夫シロキ工業社長）と国内外の生産体制のバランスを重視しながら、為替変動に強い体制づくりに挑む。

競争力強化のため生産体制を改革する動きも活発だ。中央発條や大豊工業、ファインシンターなどは従来よりも小規模で高効率な生産ラインを開発し、国内外の工場での導入を始めた。

海外拠点を拡充

リスク分散や円高対策に取り組む一方、部品各社は設備投資を積極化、中長期的な成長に向けて動きだした。東海ゴム工業は11―15年度に設備投資を累計で約2000億円と従来ペースより約3割増やす。M&A（合併・買収）のほか、インドや中南米の拠点拡充などを推進する。策定した長期ビジョンでは20年代初頭に売上高で10年度比4倍弱の1兆円を目指す。

フタバ産業は11―13年度に累計600億円の設備投資を実施する計画。アジアなどで新工場建設や既存工場の能力増強を進める。海外に成長エンジンを求める考えで、20年度までの長期ビジョンでは海外売上高比率を現状の35％から50％に引き上げる方針だ。

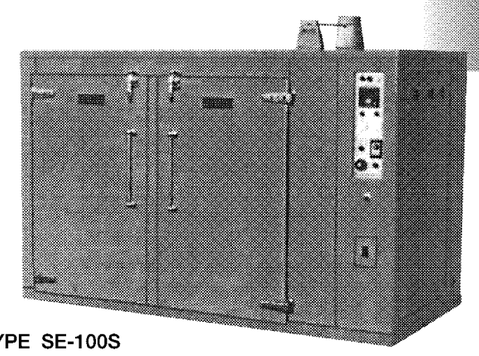
大同メタル工業は11年度の設備投資額で10年度比倍増の61億円を計画する。世界的に軸受の受注が拡大していることを受け、供給能力の強化を急ぐ。また13年稼働予定でメキシコに工場を新設する計画。同社は10年に米国工場を清算したが、北米での需要増を受けて再進出を決めた。新工場は北米での供給だけでなく「ブラジルへの輸出もにらんでいる」（判治誠吾会長）としている。

中央発條の小規模ライン

大同メタル工業がメキシコ工場で生産する軸受

国内のモノづくり力強化を打ち出した大豊工業

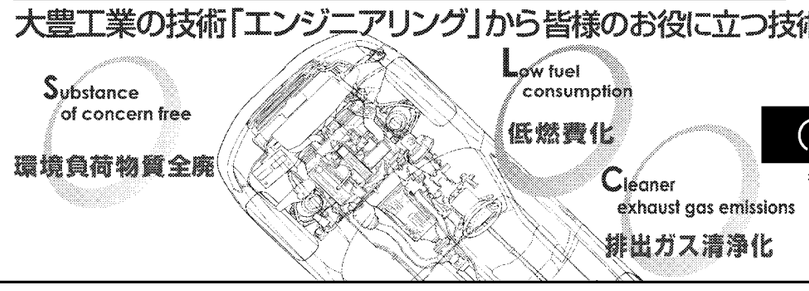
熱風循環式乾燥装置


TYPE SE-100S

●形式（内寸法）／ST・SL・SE各シリーズ
●熱　源／電気ヒーター・ガス（LPG）・蒸気等
●温　度／常温～100℃maxより600℃max迄各タイプ
●指定特殊寸法及びコンベア乾燥装置設計製作致します。

加熱乾燥・熱処理装置の総合メーカー
SHINHO 新豊科学器械株式会社
〒491-0801 愛知県一宮市千秋町加茂字北石田87番地の2
TEL〈0586〉77-5441(代)　FAX〈0586〉77-2139
http://www18.ocn.ne.jp/~shinho/

エンジニアリングから テクノロジーへ
TAIHO
大豊工業の技術「エンジニアリング」から皆様のお役に立つ技術「テクノロジー」を創造。



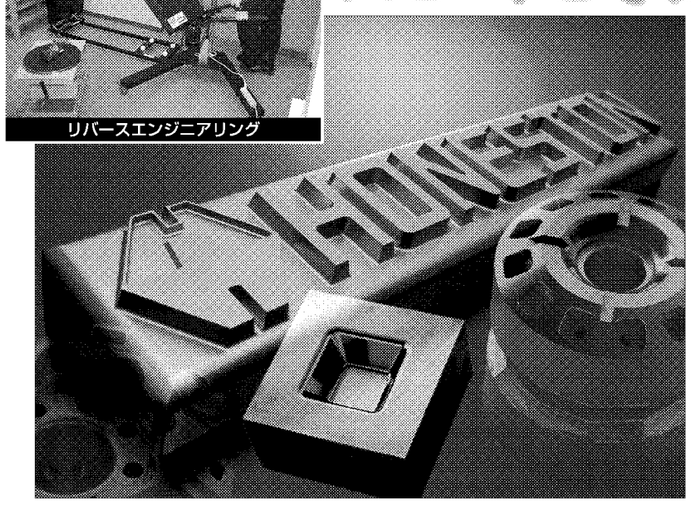
大豊工業株式会社
〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
TEL 0565-28-2225(代) FAX 0565-28-2227
URL http://www.taihonet.co.jp/
銘柄コード：6470(東証一部 名証一部)

IMASENは、シートアジャスタを
主力製品とする自動車部品メーカーです。
品質と技術で快適な車内空間づくりに貢献します。
よい品を　より安く　より速く
IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

本社・名古屋工場（犬山市）の
隣接地に新試験棟を開設いた
しました＜第1試験センター＞
http://www.imasen.co.jp
株式会社 今仙電機製作所
本社：〒484-8507　愛知県犬山市字柿畑1番地
TEL：0568-67-1211　FAX：0568-67-3418

リバースエンジニアリング

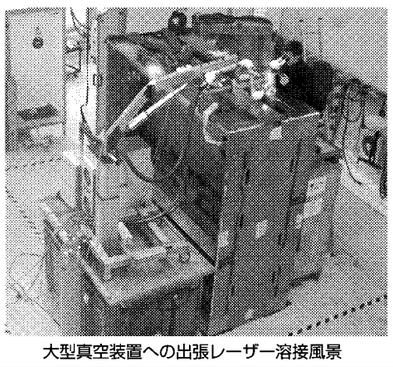
HONESTON
ISO9001認証取得
スピードこそわが社の命です。
Aichi Quality 認定番号307

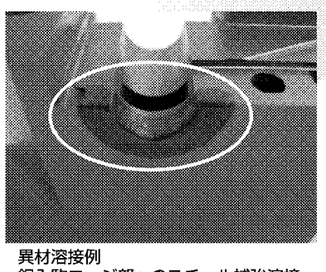


プレス金型部品の専門企業として
品質追求は当然のこととして
いかに素早く製品をつくりあげお届けするか。
「一個づくり」はもとより
あらゆる段階で行動革新に取り組み
お客様にお応えしていく。
それが、わが社の「いのち」です。
21世紀のフレキシブル・カンパニー
オネストン株式会社
URL http://www.honeston.co.jp/
本　社／〒468-0055 名古屋市天白区池場三丁目501番地の2 TEL(052)803―5811(代) FAX(052)804―0192
小牧営業所／〒485-0825 愛知県小牧市大字下末四反田414-8
工　場 TEL(0568)75―4531(代) FAX(0568)75―4532
岡崎営業所／〒444-2106 愛知県岡崎市真福寺町字牛落20番18
工　場 TEL(0564)66―2151(代) FAX(0564)66―2152
静岡営業所／〒417-0047 静岡県富士市青島町195-3 グレース富士1F
TEL(0545)51―5088(代) FAX(0545)51―5078
九州営業所／〒812-0877 福岡市博多区元町1-8-6 メゾンベルビュー1F
TEL(092)588―7020(代) FAX(092)588―7025
HONESTON AMERICA CORPORATION
2301 MAGGARD DR., SUITE 110, LEXINGTON KY 40511
TEL 859―243―0252　FAX 859―243―0255

DAIDO METAL
http://www.daidometal.com/
大同メタル工業株式会社
名古屋本社　〒460―0008　名古屋市中区栄二丁目3番1号　名古屋広小路ビルヂング13階　TEL.052―205―1401
東京本社　〒140―0002　東京都品川区東品川二丁目2番24号　天王洲セントラルタワー17階　TEL.03―5462―3300

DSI International　URL：http://www.dsi-laser.co.jp
再製作を考える前に肉盛修正してみませんか。
レーザー肉盛溶接で
モノ造りが変わる


大型真空装置への出張レーザー溶接風景


異材溶接例
銅入駒エッジ部へのスチール補強溶接

■レーザー溶接の用途
• 各種金型への補修、設計変更による修正
• 機械設備部品へのキズ修正、摩耗部への補修
• 機械、治工具部品の接合組立

DSI International 有限会社　〒480-0304 春日井市神屋町字大内1712-1　TEL. 0568-88-4037　FAX. 0568-88-3992
DSI 大東　〒578-0901 東大阪市加納4-14-8　TEL. 072-963-0861　FAX. 072-963-0862
DSI 春日井　〒480-0304 春日井市神屋町字大内1712-1　TEL. 0568-88-3988　FAX. 0568-88-3992
DSI 岡崎　〒444-0931 岡崎市大和町字沓市場85-1　TEL. 0564-33-5353　FAX. 0564-33-5353